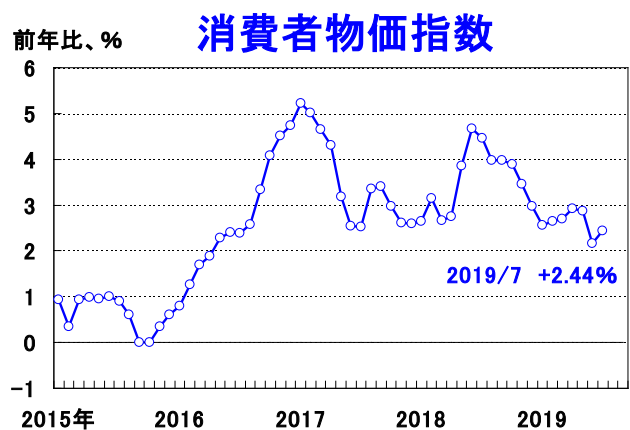
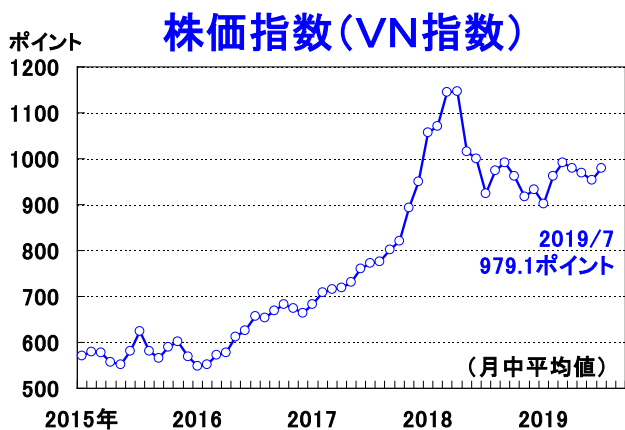
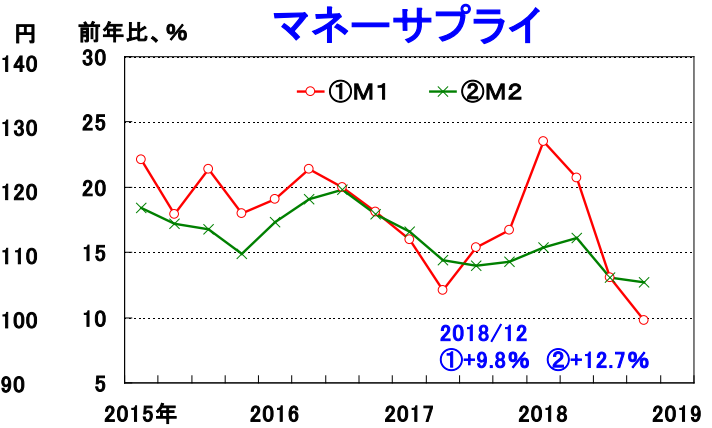
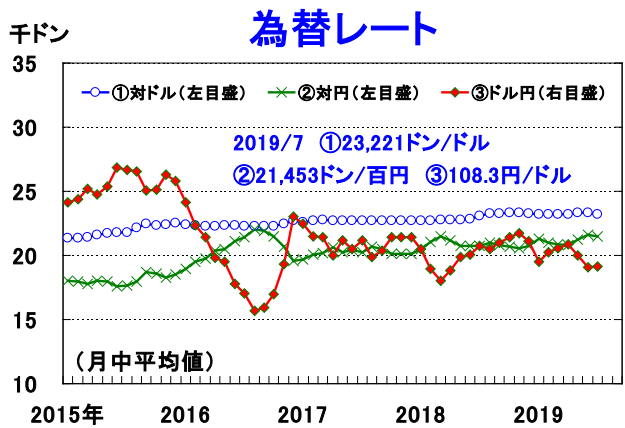
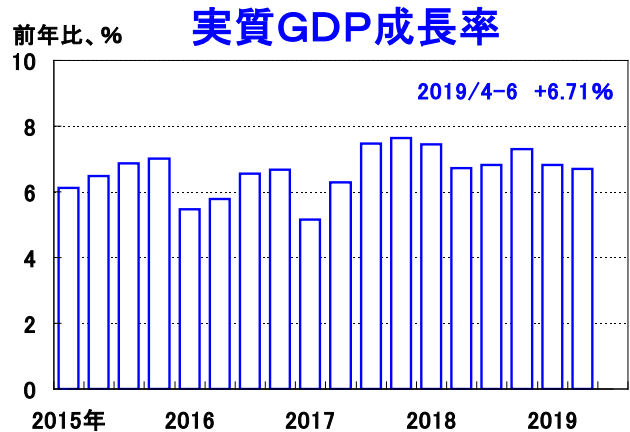
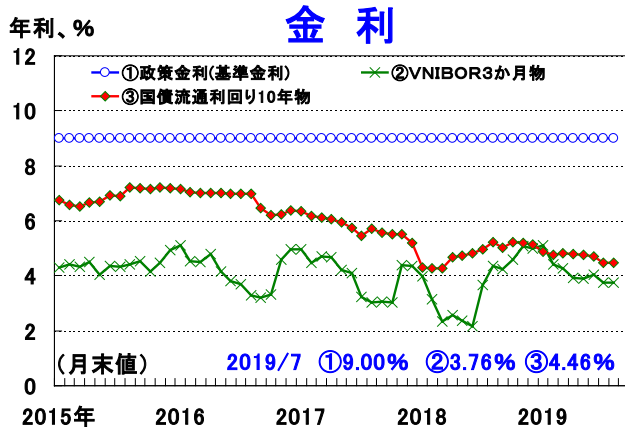


グラフで見るベトナム経済 2019年8月号(No. 115)

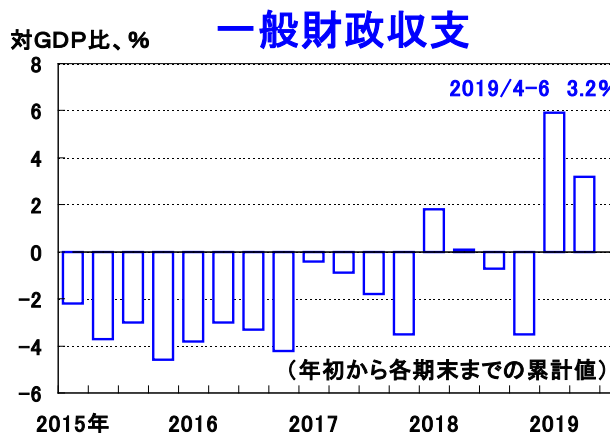
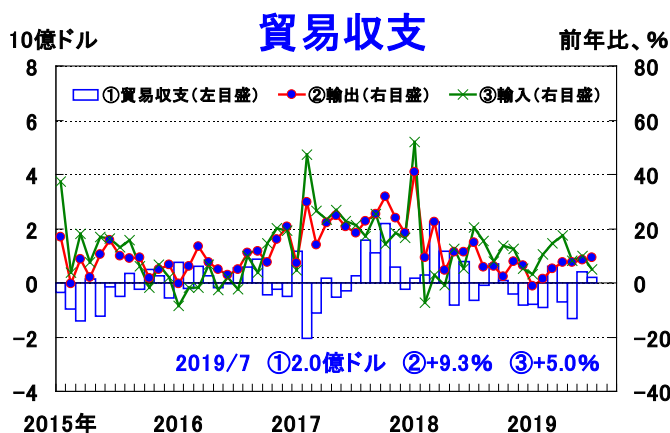
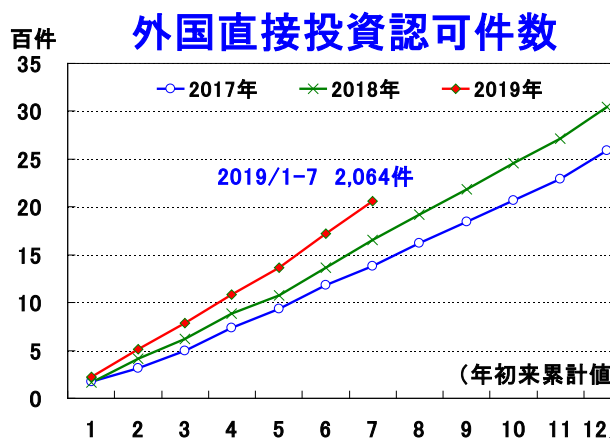
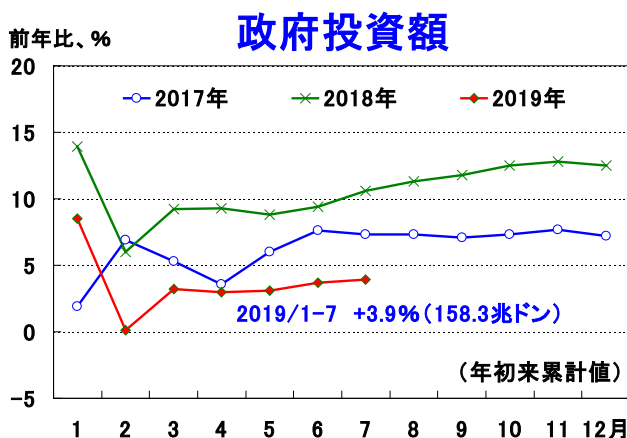
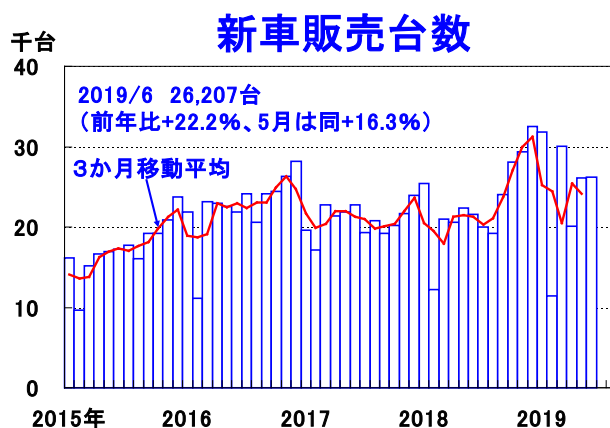
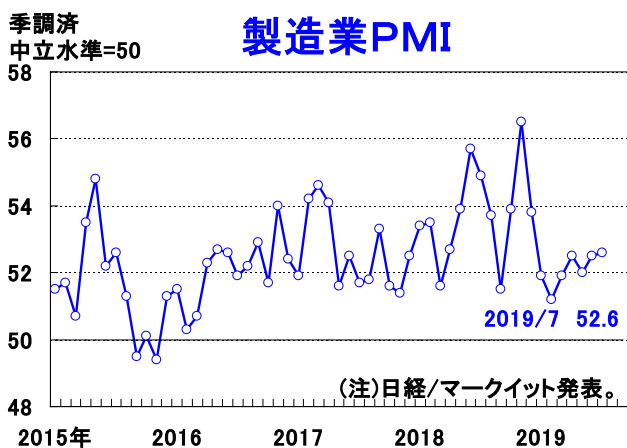
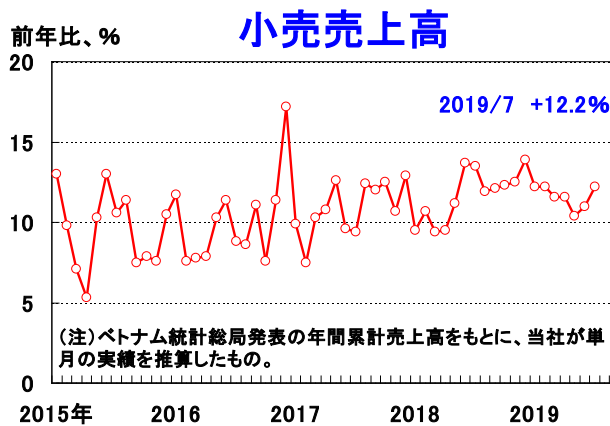
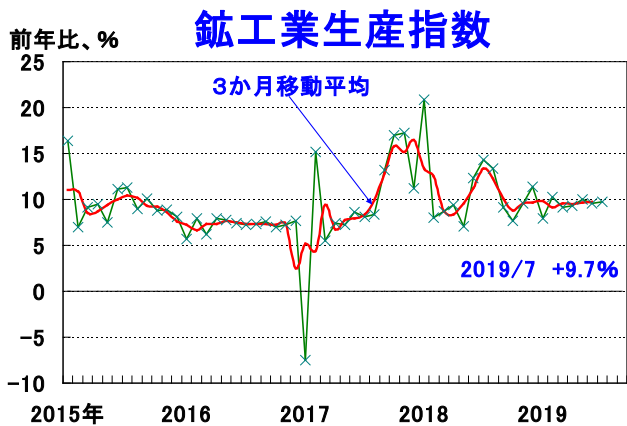
ベトナムの景気は回復している。まず、企業部門では、7月の輸出が前年比+9.3%(前月は同+8.5%)と2か月連続で伸びを高め、同月の鉱工業生産も同+9.7%と前月の伸び(同+9.6%)をわずかながら上回った。同月の製造業PMIは52.6(中立水準は50)と2か月続けて上昇し、製造業の景況感は回復基調で推移している。次に、家計部門も復調しており、6月の新車販売台数は前年比+22.2%と前月の伸び(同+16.3%)を上回り、また7月の小売売上高も同+12.2%(前月は同+11.0%)と5か月ぶりの高い伸びとなった。



【今月のトピック:増加が続くベトナムを訪問する外国人数】 ベトナム政府観光客によると、2019年1~7月にベトナムを訪れた外国人は980万人、前年比+7.9%となった。2018年の外国人訪問数は1,550万人、前年比+19.9%であった。最近、景気の減速を背景に中国や韓国からベトナムを訪れる旅行者数が減少に転じているものの、全体の数字は増加基調を維持している。近年、ベトナム政府は東南アジアの中でも有数の観光国となるため、観光産業の育成策を強化している。2019年に関しては、ベトナムを訪問する外国人数1,800万人とする目標が掲げられている。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。